

紙類資源の分別方法と出し方

◆古紙は種類ごとに再生される製品が違います。資源を有効に活用するにはきちんと分別することが重要です。

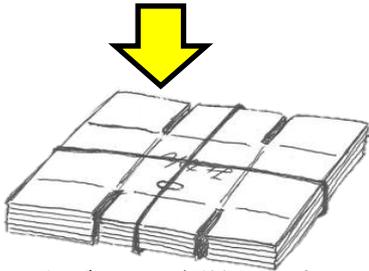
① 段ボール・新聞・雑誌・紙パックの種類ごとに分別する。

段ボール

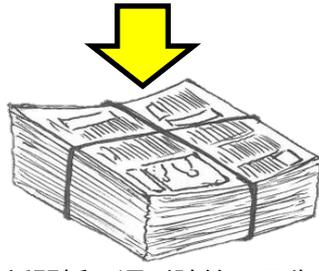
新聞・チラシ

雑誌

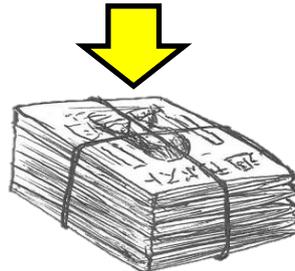
紙パック



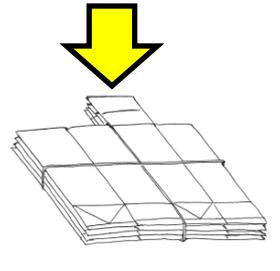
※段ボール・紙筒に再生



※新聞紙・週刊誌等に再生



※紙箱・絵本等に再生



※トイレットペーパー・ティッシュペーパー等に再生

② 種類ごとに紙ひもでしっかり束ねる。

③ 紙類資源回収日にごみステーションにだす。

◆段ボール・新聞・雑誌・紙パック以外の紙を雑がみといいます。雑がみもきちんと分ければ有効な資源として活用できます。

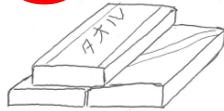
雑がみ

※窓付きはフィルムを外す

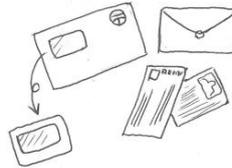
※ビニールは外す



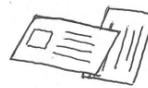
○タバコ・食品の箱



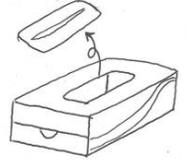
○贈答品の紙箱



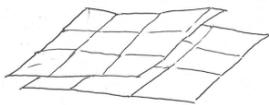
○封筒・ダイレクトメール



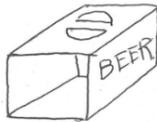
○名刺



○ティッシュの箱



○包装紙

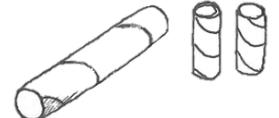


○缶ビールなどの紙パック



※金属部分は外す

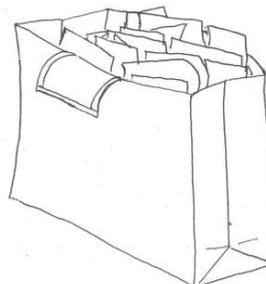
○ラップの箱



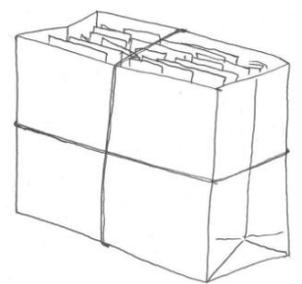
○ラップ・トイレットペーパーの芯

禁忌品を取り除く

※詳細は裏面をご覧ください



○雑紙を紙袋などに入れる



○紙ひもで束ねる

① 再生できない禁忌品を取り除き紙袋などにまとめる。

② 雑がみが入った紙袋を、紙ひもでしっかり束ねる。

③ 紙類資源回収日にごみステーションにだす。



◆禁忌品とは「製紙原料にならない異物」のことで、再生作業の妨げになるので必ずチェックし取り除いてください。

紙の禁忌品



◇これらは再生できないので雑紙に入れしないでください。

※バック等の詰め物

✕ アイロンプリント紙・捺染紙

✕ 食品残渣の付着した紙
(ピザの箱・カップラーメンの容器等)

✕ 臭いのついた紙
(石鹸の個別包装紙、洗剤容器、線香の紙箱等)

✕ 油のついた紙・汚れた紙

✕ 点字の書物

✕ 粘着物のついた封筒

✕ 防水加工された紙
(紙コップ、紙皿、油紙、ロウ紙など)

✕ カーボン紙
(宅配便の複写伝票など)

✕ 圧着ハガキ
(親展ハガキなど)

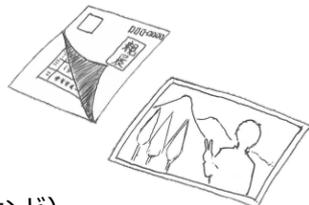
✕ 感熱紙
(ファックス用紙、レシートなど)

✕ 写真プリント用紙、感光紙

✕ プラスチックやアルミの
貼ってある紙

✕ 金・銀などの金属が
箔押しされた紙

※これらはもえるごみへ



その他の禁忌品



◇これらは再生の妨げになるので取り除いてください。

✕ 粘着テープ

✕ ファイルの金物

✕ 金属クリップ

✕ フィルム類

✕ ワッペン類



✕ 発泡スチロール

✕ セロハン

✕ プラスチック類

✕ 布製品

✕ 他紙以外の物

※金属は資源へ
それ以外はもえるごみへ



回収方法

◆紙類資源は以下の方法で出すことができます。

① 集落のごみステーション



1 地区は火曜日朝8時まで
2 地区は月曜日朝8時まで

※詳しくはごみカレンダーをご覧ください。



② リサイクルステーション

いつでも出せます

- 生涯学習センター
- 五日町町営駐車場
- 蕨岡地区まちづくりセンター
- 稲川地区まちづくりセンター

- 西遊佐地区まちづくりセンター
- 高瀬地区まちづくりセンター
- 農協吹浦支店
- ※それぞれの施設の敷地内にあります。